

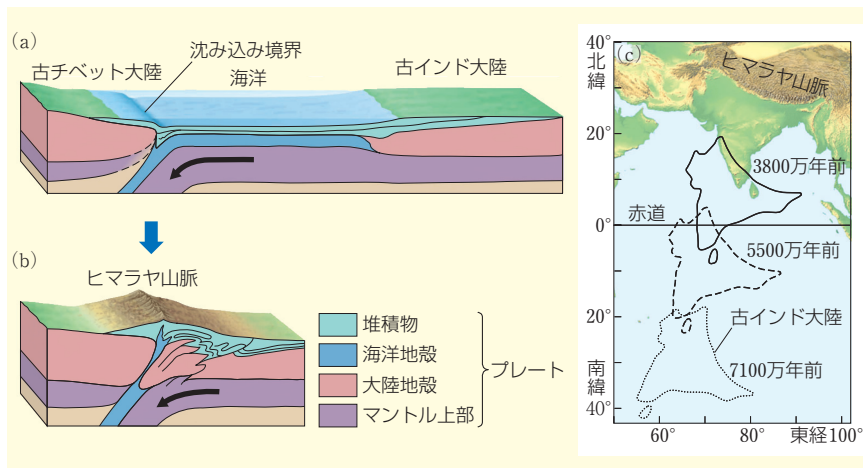
●**収束する境界**● 大陸と海洋の境界付近の海底に、<sup>a)</sup>海溝とよばれる深さ1万mに及ぶ大規模な谷地形が見られることがある。海溝は、プレートが互いに近づき、一方のプレートが他方のプレートの下に斜めに沈みこんでいる、プレートの沈み込み境界に見られる大地形である。海溝の陸側には、地震や火山の多い、日本列島のような<sup>b)</sup>島弧や、アンデス山脈のような大陸縁の山脈(陸弧<sup>りくこ</sup>)ができています。海溝と島弧をもつ地域を、**島弧—海溝系**とよぶ。

2つの陸のプレートが互いに近づく境界では、どちらの大陸も重いマントルへ沈み込むことができず、大陸どうしが衝突している場合もある(衝突境界)。そのような場所にはヒマラヤ山脈のような大山脈が形成される(→p.7)。



▲図9 アンデス山脈 南アメリカ大陸西岸にある山脈。

プレートの沈み込み境界と衝突境界はともにプレートの収束する境界である。大山脈が形成される場所(造山帯<sup>c)</sup>)はプレートの収束する境界にある。



▲図10 ヒマラヤ山脈の形成 古インド大陸と古チベット大陸の間は沈み込み境界であったが(a)、プレート運動で北上した古インド大陸は沈み込めず衝突境界となり(b)、ヒマラヤ山脈が形成された。

a) trench b) island arc c) orogenic belt